

## 6月のブルーベリー農園その3（東広島市豊栄町）

6月は朝が早く開け、夕方おそく暮れる季節。農園のある場所は標高約400mなのでバラの咲く時期もずれる。ブルーベリーの実る時期もずれる。安芸の郷の早生のブルーベリーを第2森の工房AMAの1階、2階に植えてい

るが今が旬で連日摘み取りが行われている。火曜日、金曜日には紙屋町の地下街の「ふれ愛プラザ」に100gパックを夕方納品している。早生から晩生まで（6、7、8月まで）何とか納品を頑張りたいと思っている。農園の早生のブルーベリーは7月初めから最盛期に入るが、摘み取りがまじかなのに晩生のブルーベリーの剪定をまだ続けている。もう少しの所まで来ているが過去最長の剪定作業になっている。が、まあ暑さに気を付けばちぼちと・・・。



6月19日（土）。農園の庭の小型のバラがたくさん咲いた。緑一色の農園の周囲にこの色合いはアピール力満点。



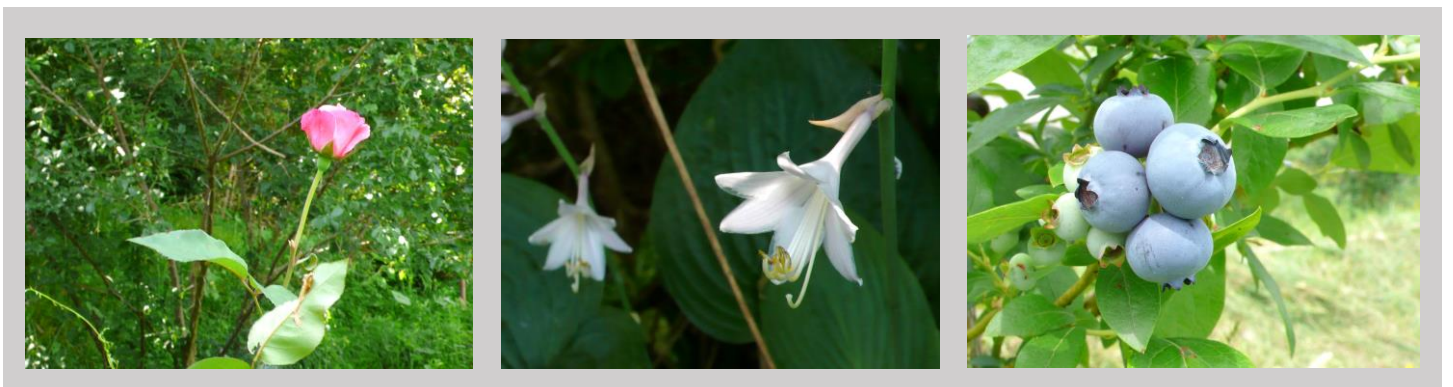
里山の周辺のサンショの木に実がっている。一つかじってみる。香りと同時に舌がしびれてくる。加工するすべを知らないなのでそのままに。



ブルーベリーの剪定を続ける。。場所は残り2か所となった東と西側の里山。



6月20日（日）。畑の一部に早生のブルーベリーを50本余り育てている。もう防鳥ネットを張っているが、草が伸びてきたのでネットの足元を浮かせてから草刈り機を使う。



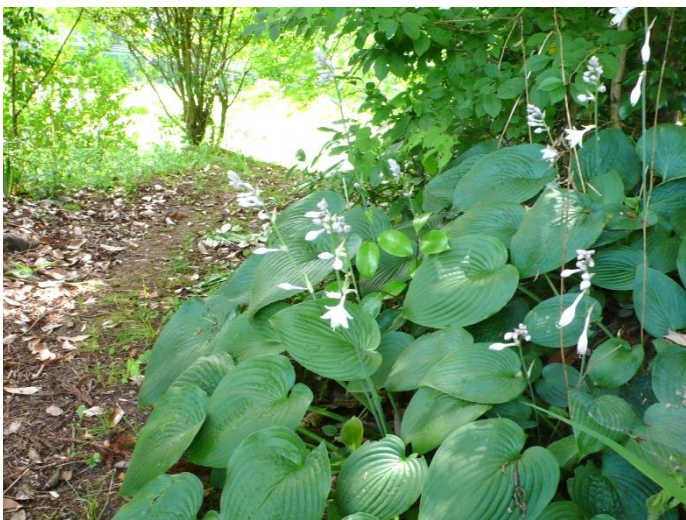


6月22日（火）。休みを取って農作業。

① 庭の花菖蒲。手入れしないのだが毎年咲く。



④ イトトンボや他のトンボが飛び交う。



② 里山の道沿いのギボシも開花。



⑤ ブルーベリーの剪定で出た枝には冬の剪定と違って葉も茂り、実もついていて運ぶと重い。



③ この日の剪定場所は里山のブルーベリー園の東側。中生のブルーベリーが少し実ってきたので剪定の合間に摘み取り。昼ごはんの後ポリポリ頂く。ちょっと酸っぱい。



⑥ 東側のブルーベリー園の剪定が終わる。最後の場所は西側のブルーベリー園。あと100本あまり。

《2021年6月23日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

2021年6月23日  
社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良